

第2次古賀市環境基本計画実施計画シート(案)

凡例

(1) 内容については、「第2次古賀市環境基本計画」より引用しています。

(2) 「施策内容」の達成に向けて取組を推進するにあたり、前期5年間、後期5年間でのそれぞれの取組の方向性を掲載しています。

(3) (2)で示した前期での取組の方向性の達成に向けた具体的な取組内容を示しています。

(4) (3)で示した取組を実施する上でのスケジュールを掲載しています。

第2次古賀市環境基本計画		担当課	〇〇課				
前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート		第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期				
第2次古賀市環境基本計画 P.〇		施策内容を達成するための具体的取組(前期)					
環境分野	〇〇〇	具体的取組①					
環境目標	〇〇〇	具体的取組②					
取組の方向性	〇〇〇	具体的取組③					
基本的な取組	〇〇〇〇〇〇	具体的取組④					
施策内容		具体的取組⑤					
指標		具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)					
現況	目標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(記入例)	スケジュール	→			
前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的取組の方向性等		具体的取組①	スケジュール				
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的取組の方向性等		具体的取組②	スケジュール				
実施主体		具体的取組③	スケジュール				
		具体的取組④	スケジュール				
		具体的取組⑤	スケジュール				
		古賀市環境政策調整委員会意見		古賀市環境審議会意見			

(4) 古賀市環境審議会及び古賀市環境政策調整委員会の意見を掲載しています。

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 57

環境分野	自然環境
環境目標	人と自然との「共生」
取組の方向性	A. 保全方針・戦略の策定
基本的な取組	A-①生物多様性の保全に向けた体制の構築

施策内容	
<p>過去実施した自然環境調査(平成14～15年度)における研究会のメンバーを中心に、生物多様性の保全に向けた検討委員会を立ち上げます。既存の植生図などのデータを最大限活用しながら、古賀市の特性にあった調査方法を検討し、自然環境に関する不足データの収集やモニタリング・評価システムの構築など、市民をはじめ地域を巻き込んだ保全のための体制づくりの検討も併せて取り組めます。</p>	

指標	現況	目標
生物多様性の保全に向けた体制づくり	—	平成29年度
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>平成16年に作成した「古賀市自然環境調査報告書」の植生図等のデータを活用し、自然環境を専門とする有識者や市民団体等との意見集約及び調整を行いながら、評価方法の作成やモニタリング調査を実施します。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>前期にて実行したモニタリング調査、及びその評価について、自然環境を専門とする有識者や市民団体と共に問題点の確認や修正を行っていきます。</p>

実施主体
環境課、自然環境を専門とする有識者、市民団体等

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
自然環境調査実施検討委員会の立ち上げ及び継続実施	自然環境を専門とする有識者や市民団体等で構成された「自然環境調査実施検討委員会」を立ち上げ、適宜協議を実施する。
指標種の設定・及びモニタリング体制の構築	指標種の設定・及びモニタリング体制を構築する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール					
自然環境調査実施検討委員会の立ち上げ及び継続実施	スケジュール					必要に応じて実施
指標種の設定・及びモニタリング体制の構築	スケジュール			必要に応じて実施		
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>「自然環境調査実施検討委員会」に関しては、古賀市の特性に通じている人材の確保が望まれる。 また、平成14～15年度に実施された「自然環境調査」のデータを活用すること等により、最少経費で策定することが望まれる。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 57

環境分野	自然環境
環境目標	人と自然との「共生」
取組の方向性	A. 保全方針・戦略の策定
基本的な取組	A-②自然環境調査の実施と「(仮称)古賀市生物多様性地域戦略」の策定

施策内容	
<p>「(仮称)古賀市生物多様性地域戦略」策定に当たり、各分野毎にグループを形成し、データが不足している地域の自然環境調査を学識者をはじめボランティア団体など多様な主体による共働で実施します。</p> <p>生物調査や植生調査においては、小学生など若年層と取り組むことで、環境教育・環境学習の場としての活用を図ります。</p> <p>また、古賀市に存在する重要な生物や植生の確認のため、分かりやすい指標を用いた調査を定期的実施します。</p>	

指標	現況	目標
古賀市生物多様性地域戦略の策定	—	平成29年度
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>「(仮称)古賀市生物多様性地域戦略」策定に向け、自然環境を専門とする有識者や市民団体等と横断的な体制を構築し、調査、評価を実施します。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>「(仮称)古賀市生物多様性地域戦略」策定の際に、自然環境を専門とする有識者等によって構築したモニタリング調査体制・評価システムを基に、生物調査・植生調査を継続的に実施します。また実施の際は市民団体や小学生など共に実施することにより、環境教育・環境学習の場としての活用を図ります。</p>

実施主体
環境課、自然環境を専門とする有識者、市民団体等

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
自然環境調査・評価を実施するための体制構築	自然環境調査・評価を実施するための体制を構築する。
自然環境調査実施計画の策定	自然環境調査に係る実施計画を策定する。
多様な主体との調査	市民団体等多様な主体との共働にて調査を実施する。
「(仮称)古賀市生物多様性地域戦略」の策定	「(仮称)古賀市生物多様性地域戦略」を策定する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
自然環境調査・評価を実施するための体制構築	スケジュール	←	→			
自然環境調査実施計画の策定	スケジュール		←	→		
多様な主体との調査	スケジュール		←			継続調査の実施
「(仮称)古賀市生物多様性地域戦略」の策定	スケジュール					←
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
自然環境を専門とする有識者や市民団体等との体制づくりが課題である。	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 58

環境分野	自然環境
環境目標	人と自然との「共生」
取組の方向性	A. 保全方針・戦略の策定
基本的な取組	A-③生物多様性の保全に向けたガイドラインの作成

施策内容

宅地開発など古賀市の開発事業の際に、生物多様性に配慮した環境整備を促すため、現行の環境配慮指針を見直し、土地対策指導要綱での協議内容や、「古賀市美しいまちづくりプラン(景観基本計画)」を考慮した環境整備を図るためのガイドラインを作成します。
ガイドラインには、植生や生物の生息環境など、その地域の生物多様性の視点から、重要度に応じて求められる保全施策の方法とともに外来生物への対応なども考慮します。
また、古賀市の環境の状況は変化していくため、A-②の推進にあわせ定期的なモニタリング調査を実施し、適宜内容の見直しを図り、環境配慮指針として整備します。(第1部 第6章参照)

指標	現況	目標
生物多様性の保全に向けたガイドラインの策定	—	平成30年度
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

《基本的な取組 A-②「自然環境調査の実施と(仮称)古賀市生物多様性地域戦略」の策定》に沿った環境整備を図るためのガイドラインの整備に向け、関係者間での調整を行います。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

国・県・市が実施する公共事業等の計画、立案の際には、前期において整備されたガイドラインを活用し、実施します。

実施主体

環境課、都市計画課、自然環境を専門とする有識者

担当課	環境課、都市計画課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

生物多様性の保全に向けたガイドラインの整備	《基本的な取組 A-②「自然環境調査の実施と(仮称)古賀市生物多様性地域戦略」の策定》にて推進する実施内容と整合性のとれたガイドラインを整備する。(目標平成30年度)

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール					
生物多様性の保全に向けたガイドラインの整備	スケジュール					←事前準備
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見

ガイドライン策定に向け、関係者間による協議の場の設定が求められる。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P59

環境分野	自然環境
環境目標	人と自然との「共生」
取組の方向性	B. 森林の保全・農地の保全と活用(里地里山の保全)
基本的な取組	B-①農地の保全と有効活用

施策内容

水源かん養や災害防止などの農地の持つ多面的・公益的な機能を今後も生かすため、水路・ため池などの適切な維持管理を促し、継続的な機能維持に努めます。生産された野菜などの一部をコスモス館の販売や学校給食に用いることで、地産地消の推進を図るとともに、市民農園の整備や市民がその大切さを実感できるようなふれあいの場の創出にも努めます。また、耕作放棄地対策については、国の制度である「人・農地プラン」事業を進めるとともに、農業委員会による指導強化、同時に耕作放棄地の再生事業を実施していきます。

指標	現況	目標
コスモス広場の組合員数	200人	増加(平成35年度)
市民農園数	3箇所	5箇所(平成35年度)

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

農業施設については適正な機能が発揮されるよう維持管理を継続していきます。地産地消の拠点であるコスモス館の管理運営を継続していきます。農区に対し「人・農地プラン」作成を推進し、遊休農地を増やさず耕作放棄地の再生を図りながら、遊休農地の活用と農業の担い手の確保につながる施策を展開します。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

農業施設については適正な機能が発揮されるよう維持管理を継続していきます。地産地消の拠点であるコスモス館の管理運営を継続していきます。「人・農地プラン」を活用し、遊休農地の活用と農業の担い手の確保につながる施策を展開します。

実施主体

古賀市(農林振興課)・農業委員会・コスモス広場利用組合

担当課	農林振興課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

「人・農地プラン」の作成	農業の担い手や農地などを含めた今後の地域農業のあり方を示す「人・農地プラン」を作成する。
耕作放棄地の活用	農業委員会による農地パトロールで耕作放棄地と認定された農地を耕作できるように整地する。
地産地消の推進	地元農産物の学校給食への利用やコスモス館での販売を促進し、地産地消を推進する。
農業用施設の継続的な維持補修	農業用施設の継続的な維持補修を行う。
市民農園開設に向けたあっせんや相談	市民のレクリエーションとしての自家用野菜・花の栽培、高齢者の生きがいつくり、生徒・児童の体験学習などを目的に、小面積の農地を利用して野菜や花を育てる市民農園開設に向けたあっせんや相談を受ける。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
「人・農地プラン」の作成	スケジュール					→
耕作放棄地の活用	スケジュール	←				→
地産地消の推進	スケジュール	←				→
農業用施設の継続的な維持補修	スケジュール	←				→
市民農園開設に向けたあっせんや相談	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見

農業の担い手不足と耕作放棄地の増加は密接な関係がある。農地の公益的機能維持のためにも「人・農地プラン」事業を活用し、地域農業の活性化を推進する必要がある。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P59

環境分野	自然環境
環境目標	人と自然との「共生」
取組の方向性	B. 森林の保全・農地の保全と活用(里地里山の保全)
基本的な取組	B-②森林・松林の適正な管理と保全

施策内容	
<p>人工林の計画的な間伐や「古賀市10万本ふるさとの森づくり事業」で実施したグリーンパークの木々の育林を継続して実施していくとともに、海岸に植生する松林についても、松くい虫防除のための農薬散布や松葉かきなど、ボランティア団体と連携・協力しながら適切な管理に努めていきます。</p> <p>また、近年問題が顕著になってきている竹林被害の問題についても、有効な対策の検討やそれに向けた体制の整備などについて考察していきます。</p>	

指標	現況	目標
森林面積	1,120ha	現状維持(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>松林保全のため松くい虫対策となる薬剤の散布や樹幹注入事業を継続します。また、ボランティア団体との定期的な協議や支援を行ない松林保全に繋がります。</p> <p>森林への侵入竹林は有効な対策について研究します。</p> <p>グリーンパークの森林保全については、啓発活動等も含め、ボランティア団体等と共働で継続実施します。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>松林保全のため松くい虫対策となる薬剤の散布や樹幹注入事業を継続します。また、ボランティア団体との定期的な協議や支援を継続し松林を保全します。</p> <p>前期の研究を踏まえ侵入竹林への対策を行ないます。</p> <p>グリーンパークの森林保全については、啓発活動等も含め、ボランティア団体等と共働で継続実施します。</p>

実施主体
古賀市(農林振興課)

担当課	農林振興課、都市計画課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
松くい虫の防除	松くい虫の防除に取り組み、松林の保全を図る。
森林の間伐	間伐を行い荒廃森林の再生を図る。
竹林対策	侵入竹林対策について研究する。
グリーンパークの森林保全	グリーンパークの森林保全に関する育林や啓発活動等を実施する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
松くい虫の防除	スケジュール					
森林の間伐	スケジュール					
竹林対策	スケジュール					
グリーンパークの森林保全	スケジュール					
具体的取組⑤	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>森林の公益的機能や防風保安林の機能が発揮されるための継続した森林保全には、市民団体、ボランティア団体、企業等との連携・協力体制を構築する取組が必要である。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P59

環境分野	自然環境
環境目標	人と自然との「共生」
取組の方向性	B. 森林の保全・農地の保全と活用(里地里山の保全)
基本的な取組	B-③農業者・団体の人材育成

施策内容

農業従事者の減少に歯止めをかけるため、各種補助金などの制度をはじめ、福岡県北筑前普及指導センターや粕屋農業協同組合と情報共有しながら、それぞれが保有する有効な支援策を提案し、育成していくことで、将来的には認定農業者としての農業経営が図れるよう支援を行っていきます。

指標	現況	目標
認定農業者数	53人	66人(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

新規就農者や認定農業者への支援を継続し、農業の担い手の確保につながる施策を展開します。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

前期に引き続き、新規就農者や認定農業者への支援を継続し、農業の担い手の確保につながる施策を展開します。

実施主体

古賀市(農林振興課)・古賀市認定農業者協議会

認定農業者制度：農業者が農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画を市町村が認定し、これらの認定を受けた農業者に対して重点的に支援措置を講じようとするもの

担当課	農林振興課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

青年就農給付金の交付	人・農地プランに位置づけられた45歳未満の独立・自営就農者に対して、青年就農給付金を交付する(最長5年間)。
経営転換協力金の交付	人・農地プランに位置づけられた地域の中心となる経営体への農地集積を図ることで、土地利用型農業から経営転換する農業者、離農する農業者、農地の相続人に対し、農地面積に応じ経営転換協力金を交付する。
認定農業者の支援	認定農業者の効率的かつ安定的な農業経営を支援する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール					
青年就農給付金の交付	スケジュール					
経営転換協力金の交付	スケジュール					
認定農業者の支援	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見

制度を活用して就農者・離農者への支援を行い、農業の担い手確保や農地集積を推進することが求められる。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 61

環境分野	自然環境
環境目標	人と自然との「共生」
取組の方向性	C. 人と自然とふれあう場の保全・創出
基本的な取組	C-①薬王寺水辺公園及び小学校内ビオトープの計画的な保全と活用

施策内容

薬王寺水辺公園内のビオトープを、ボランティア団体などと共働して、計画的な保全に取り組めます。また、小学校(舞の里小、花見小)内にあるビオトープについても、学校やボランティア団体をはじめ、地域、PTAとも連携・協力しながら保全を図るとともに、環境学習の場としても有効に活用していきます。

指標	現況	目標
ビオトープを活かした取り組み数	2回	増加(平成35年度)
生物とふれあう場の確保・創出に対する満足度	17.6%	47.8%(平成35年度)

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

ぐりんぐりん古賀と連携・協力を図り、舞の里小学校ビオトープ及び薬王寺水辺公園内ビオトープの再整備に取り組めます。
舞の里小学校ビオトープについては、学校と協議のうえ、ビオトープを活用した講座案を作成します。学校においては、委員会活動や、生活科の授業等の環境学習での活用を推進します。
保全については、学校を中心に地域やPTAと連携し、取り組めます。
薬王寺ビオトープについては、ぐりんぐりん古賀等と連携・協力を図りながら取り組みを推進します。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

花見小学校など市内にあるビオトープの計画的な活用や保全に、地域、PTAとも連携・協力を図りながら、取り組めます。
全国学校・園庭ビオトープコンクール(公益財団法人日本生態系協会主催)での入賞経験のある近隣団体の取組を参考に、コンクールに応募できるレベルのビオトープ活用を目指します。

実施主体

古賀市(環境課)、ぐりんぐりん古賀、学校、市民

農林振興課:河内池(農林振興課整備)・・・ため池管理は基本農区。

まず、舞の里小の整備から着手。施設整備、意識づくり、人づくり。

※舞の里小すでに取り組みに着手しており(ビオトープ委員会、PTA)意識が高い。

水辺公園については、ぐりんぐりん古賀主体で取組予定。

舞の里小のビオトープ整備、コンクール活用については小学校と協議し、了解を得ている。H26.6学校教育課

担当課	環境課、都市計画課、学校教育課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

都市計画課:必要に応じた維持管理を実施

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

舞の里小学校ビオトープの再整備	多様な主体と連携して舞の里小学校ビオトープの再整備を行う。
学校教育活動へのビオトープの活用推進	授業をはじめとした学校教育活動へのビオトープの活用推進を行う。
薬王寺水辺公園内のビオトープの活用推進	希少生物の生息する薬王寺水辺公園内のビオトープの活用推進を行う。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
舞の里小学校ビオトープの再整備	スケジュール	←	→			
学校教育活動へのビオトープの活用推進	スケジュール	←	→			
薬王寺水辺公園内のビオトープの活用推進	スケジュール	←	→			
	スケジュール					
	スケジュール					

(ぐりんぐりん古賀、学校教育課、教育総務)

古賀市環境政策調整委員会意見

担当課、市民団体、学校と共に連携しながら、取組を推進する必要がある。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 61

環境分野	自然環境
環境目標	人と自然との「共生」
取組の方向性	C. 人と自然とふれあう場の保全・創出
基本的な取組	C-②自然環境に配慮した河川・公園の保全と創造

施策内容	
<p>環境保全型ブロックの使用など自然環境に配慮した整備を推進していきます。 また、ボランティア団体と連携した草刈りや、市民とのワークショップによる景観や自然環境に配慮した河川及び親水空間の確保をめざすとともに、環境学習の場としても活用していきます。</p>	

指標	現況	目標
生物とふれあう場の確保・創出に対する満足度	17.6%	47.8%(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>河川整備においては、自然環境に配慮した整備を推進していきます。県・市・九州大学、市民協働ですすめている大根川の整備については、今後もワークショップの開催などを通して、景観や自然環境に配慮した河川及び親水空間の確保を目指すとともに、環境学習の場としての活用も検討します。 市施行の新規公園整備等については、ワークショップの開催による市民参加型の公園づくりに取り組み、公園の草刈等、地域との連携による効果的・効率的な公園の維持管理を推進します。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>大根川においては、前期に引き続きワークショップを開催し、親水空間を確保していきます。 花見小学校など市内にあるビオトープの計画的な活用や保全に、地域、PTAとも連携・協力を図りながら、取り組みます。 市施行の新規公園整備等については、ワークショップの開催による市民参加型の公園づくりに取り組み、公園の草刈等、地域との連携による効果的・効率的な公園の維持管理を推進していきます。</p>

実施主体
古賀市(環境課、建設課、都市計画課)、学校、市民、ぐりんぐりん古賀

ワークショップに関しては、環境課と建設課の情報共有を図る。
新規公園整備は花見東地区公園で予定あり。H26ワークショップ(地域の意見聞き取り)、設計H27工事予定
「公園の草刈等、地域との連携による」:現在行政区にすでに委託している。
大根川「環境学習の場としての活用も検討します」

担当課	環境課、建設課、都市計画課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
花見東地区公園整備に関するワークショップ開催	花見東地区公園整備についてワークショップを開催する。
大根川整備詳細設計における内容説明に伴うワークショップの開催	県主体の大根川整備詳細設計の確認及び詳細設計後、内容説明に伴うワークショップを開催する。
施工状況確認のためのワークショップの開催	大根川整備に関する詳細設計最終確認後、施工状況確認のためのワークショップを開催する。

※実施が未確定のため、優先順位を下位にしている。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
花見東地区公園整備に関するワークショップ開催	スケジュール	←	→			
大根川整備詳細設計における内容説明に伴うワークショップの開催	スケジュール					
施工状況確認のためのワークショップの開催	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
景観や自然環境に配慮し、ワークショップの計画を検討されたい。	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 63

環境分野	生活環境
環境目標	「快適」で「安全」な住環境の確保
取組の方向性	A. 大気環境その他の保全
基本的な取組	A-①生活環境苦情などに対する適切な対応

施策内容	
<p>生活環境苦情に対しては現場確認など迅速な対応を行うとともに、必要に応じ立入検査を実施します。また、近年では、特に不法投棄や野焼き、近隣騒音など、一般家庭が当事者となる苦情が多くを占めているため、広報やホームページによる市民・事業者へのマナーの啓発に努めます。</p> <p>また、有害物質の流失による土壌汚染や水質事故などの対応は、県や関係部署と連携して拡大防止、原因の究明を図ります。</p>	

指標	現況	目標
生活環境苦情件数	73件	20%減少(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>苦情発生時における速やかな対応、また県や市関係部署との連携を図り、苦情件数の減少に努めます</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>前期に引き続き、苦情発生時における速やかな対応、また県や市関係部署との連携を図り、苦情件数の減少に努めます</p>

実施主体
<p>環境課、県保健環境福祉事務所、関係部署</p>

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
生活環境苦情の対応	生活環境苦情となっている原因を確認し、発生源に対して指導を行う。
土壌汚染や水質事故などに関する対応	有害物質の流失による土壌汚染や水質事故などの対応に関しては、県や関係部署と連携して拡大防止、原因の究明に努める。
市民・事業者へのマナーの啓発	広報やホームページによる市民・事業者へのマナーの啓発を図る。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
生活環境苦情の対応	スケジュール					
土壌汚染や水質事故などに関する対応	スケジュール					
市民・事業者へのマナーの啓発	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>生活環境苦情対応については、数量的な効果計測が難しい施策と考えられるが、比較的順調に取組が実施されており、今後も継続した取組が求められる。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 63

環境分野	生活環境
環境目標	「快適」で「安全」な住環境の確保
取組の方向性	A. 大気環境その他の保全
基本的な取組	A-②光化学オキシダント及び微小粒子状物質(PM2.5)の基準超過時における適切な対応

施策内容	
<p>古賀市近隣の、一般大気・自動車排出ガスの測定局では、近年、いずれの地点、測定項目においても、概ね環境基準を満たしておりますが、光化学オキシダントや微小粒子状物質(PM2.5)の短期的評価においては基準超過が確認されており、全国的な傾向ではあるものの、健康被害が伴う可能性があるため、観測データの把握、庁内の体制の構築、市民への注意喚起など、適切な対応を行ってまいります。</p>	

指標	現況	目標
大気環境の保全に関する満足度	21%	50%(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>県から発令される注意喚起等の各種情報を注視し、警戒情報等が発令された場合には、対応マニュアルに従い、必要な処置を速やかに実行します。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>前期に引き続き、県から発令される注意喚起等の各種情報を注視し、警戒情報等が発令された場合には対応マニュアルに従い、必要な処置を速やかに実行します。</p>

実施主体
環境課、関係各部署

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
注意喚起時等の対応	県が発令する観測データ等を把握し、注意喚起等の警報が県より発令された際は、対応マニュアル等にしがたが、市民への周知、被害実態の把握等、必要な対応を速やかに実行する。
市民への注意喚起	広報やホームページによる市民への注意喚起を行う。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
注意喚起時等の対応	スケジュール					→
市民への注意喚起	スケジュール					→
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>情報、データの収集及び発信を的確また迅速な対応を行う必要がある。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 63

環境分野	生活環境
環境目標	「快適」で「安全」な住環境の確保
取組の方向性	A. 大気環境その他の保全
基本的な取組	A-③自動車騒音の計画的な測定・監視

施策内容	
<p>騒音規制法に基づく自動車騒音常時監視を計画的に実施します。対象路線は2車線以上の道路(市町村道については4車線以上)であり、古賀市では9路線が対象となっています。平成24年度から福岡県から権限委譲されており、5年間のローテーションで計画的な測定を実施します。</p>	

指標	現況	目標
道路交通騒音の環境基準達成率	96%	100%(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>平成24年度からの5年間のローテーションで市内9路線において、自動車騒音測定を計画的に行い、積極的に関係機関に情報の提供を行います。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>前期に引き続き、計画的な自動車騒音測定を実施し、積極的に関係機関への情報提供を行います。</p>

実施主体
環境課

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
平成26年度自動車騒音測定実施	26年度 古賀駅前停車場線、町川原赤間線の自動車騒音測定を実施する。
平成27年度自動車騒音測定実施	27年度 九州自動車道の自動車騒音測定を実施する。
平成28年度自動車騒音測定実施	28年度 米多比谷山古賀線、清瀧古賀線の自動車騒音測定を実施する。
平成29年度自動車騒音測定実施	29年度 国道495号線、筑紫野古賀線の自動車騒音測定を実施する。
平成30年度自動車騒音測定実施	30年度 引き続き5年間のローテーションに基づき、測定を実施する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
平成26年度自動車騒音測定実施	スケジュール	←	→			
平成27年度自動車騒音測定実施	スケジュール		←	→		
平成28年度自動車騒音測定実施	スケジュール			←	→	
平成29年度自動車騒音測定実施	スケジュール				←	→
平成30年度自動車騒音測定実施	スケジュール					←

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>法定受託事務であるが、計画に沿った測定とその結果について、関係機関への情報提供が求められる。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 65

環境分野	生活環境
環境目標	「快適」で「安全」な住環境の確保
取組の方向性	B. 水環境の保全
基本的な取組	B-①定期的な水質調査の実施

施策内容	
<p>古賀市の河川水質検査では、近年、いずれの観測点でも概ね環境基準を満たしておりますが、今後も引き続き、水質の把握に努めるため、水質調査を実施していきます。また、海水域についても、毎年定点監視を行うことで水質状況の経年的な把握に努めます。地下水の水質については、福岡県が地下水概況調査を行っており、経年的に環境基準を満たしていますが、有事の際には、県と情報の共有を図り、適切に対応していく必要があります。</p>	

指標	現況	目標
河川・海域における水質の環境基準達成度状況	100%	100%(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>河川、海域等の公共用水域については、概ね水質が改善傾向にあることから、生活排水の処理が進んでいると想定されます。前期については、水質調査等を継続して行なうことにより、現状把握に努め、個別の事案において、排水に水質汚濁等が認められる場合は、各機関と連携して迅速に対応していきます。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>前期の水質の傾向を踏まえ、後期についても水質調査等を行なうことで現状を把握し、問題が認識されれば、原因除去及び被害拡大防止に努めます。</p>

実施主体
古賀市(環境課・水道課・施設管理関係各課)・宗像・遠賀保険福祉環境事務所・福岡県土木整備事務所

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
市内河川水質調査	市内河川7箇所の水質調査を実施し、水質状況を経年的に把握する。
海水域水質調査	海水域4箇所の水質調査を実施し、水質状況を経年的に把握する。
快適環境監視事業	上水道未整備地域の地下水水質状況の把握のために、家庭用飲用井戸における12項目の水質調査(サンプリング調査)を実施する(快適環境監視事業)。
問題発生時の対応	上記の水質調査及びパトロール等により水質等に問題が確認されれば、原因除去及び被害拡大防止に関係機関と連携して対応する。

12項目＝＝飲用井戸等衛生対策要領10項目(※)
+鉄及び化合物+カルシウム・マグネシウム等(硬度)

※一般細菌・大腸菌・硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素・塩化物イオン・有機物(全有機炭素(TOC)の量)・pH値・味・臭気・色度・濁度

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
市内河川水質調査	スケジュール	←	→			
海水域水質調査	スケジュール	←	→			
快適環境監視事業	スケジュール	←	→			
問題発生時の対応	スケジュール	←	→			
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>水質状況の経年的な把握については、比較的順調に取組が実施されており、今後も継続した取組と情報の公開が求められる。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 65

環境分野	生活環境
環境目標	「快適」で「安全」な住環境の確保
取組の方向性	B. 水環境の保全
基本的な取組	B-②公共下水道・農業集落排水・浄化槽事業の推進

古賀市全域において、公共下水道・農業集落排水・浄化槽事業により水洗化の普及・促進を図ります。
 薦野・米多比地区への継続した整備を実施しており、整備済区域における水洗化を促すため、奨励金制度の活用や説明会の実施など水洗化率の向上を図ります。未整備区域については、合併処理浄化槽設置に伴う補助金を交付し、水洗化を促します。
 また、古賀水再生センター流入水の汚濁負荷を軽減するため、事業場における水質の把握、定期的な水質検査を実施します。

指標	現況	目標
汚水処理人口普及率	94%	100%(平成37年度)
—	—	—

<p>前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等</p> <p>公共下水道、農業集落排水については、未整備区域における下水道の整備を行っています。前期については、今後も継続して未整備区域における下水道の整備を行うとともに、奨励金制度・事業説明会による水洗化率向上に努めます。その他の地区については、合併処理浄化槽補助金事業により水洗化を促します。 また、古賀水再生センターにおける有害物質の流入を防ぐため、定期的な事業場排水検査を実施します。</p>
<p>後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等</p> <p>公共下水道、農業集落排水については、後期についても、継続して未整備区域における下水道の整備を行うとともに、奨励金制度・事業説明会による水洗化率向上に努めます。その他の地区については、合併処理浄化槽補助金事業により水洗化を促します。 また、古賀水再生センターにおける有害物質の流入を防ぐため、定期的な事業場排水検査を実施します。</p>

<p>実施主体</p> <p>古賀市(下水道課)</p>

担当課	下水道課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
合併処理浄化槽補助金の交付	合併処理浄化槽補助金を交付する。
事業場排水検査の実施	定期的な事業場排水検査を実施する。
市内下水道管渠・施設の整備	市内下水道管渠・施設を整備する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
合併処理浄化槽補助金の交付	スケジュール	←	→			
事業場排水検査の実施	スケジュール	←	→			
市内下水道管渠・施設の整備	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

<p>古賀市環境政策調整委員会意見</p> <p>今後も市全域の水洗化へ向け、公共下水道及び農業集落排水事業の計画的な推進と未整備区域における合併浄化槽の補助に取り組む必要がある。</p>	<p>古賀市環境審議会意見</p>
---	--------------------------

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 67

環境分野	都市環境
環境目標	緑・歴史・風景の「調和」
取組の方向性	A. 都市景観の維持・形成
基本的な取組	A-①景観まちづくりセミナーの実施

施策内容	
<p>景観まちづくりに関する市民意識を高めるため、「環境」「色彩」「植栽」「生態系」など、景観まちづくりにかかわりの深いセミナーを定期的で開催します。長期的には、景観まちづくりに積極的に参画する人材の育成をめざします。</p>	

指標	現況	目標
セミナー参加延べ人数	440 人	1,300 人(平成30年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>景観まちづくりに関する市民意識を高めるため、「環境」「色彩」「植栽」「生態系」など、景観まちづくりにかかわりの深いセミナーを、大人向け・子ども向けに各1回、年度計2回開催します。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>前期の取組を踏まえ、景観まちづくりに取り組む大学、団体等との連携を深め、景観まちづくりの中心的活動を担う専門性の高い人材育成の場としてセミナーを開催します。</p>

実施主体
古賀市

担当課	都市計画課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
景観まちづくりセミナーの開催	景観まちづくりに関する市民の意識向上を図るため、景観まちづくりセミナーを開催する。

大人向け・子ども向け各1回

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール					
景観まちづくりセミナーの開催	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>景観セミナーの実施にあたっては、市民意識の向上のために、市民等の参加を促す取組みが必要である。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 67

環境分野	都市環境
環境目標	緑・歴史・風景の「調和」
取組の方向性	A. 都市景観の維持・形成
基本的な取組	A-②景観まちづくり教育プログラムの実施

施策内容

まちなみや自然の美しさなど、普段見落としている古賀市の魅力を再発見することをめざし、景観写真コンテストや景観絵画コンテストなどを開催することで、市民の都市景観に対する意識の高揚を図ります。

H25実績: 306

指標	現況	目標
コンテスト応募点数	100点	300点(平成27年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

普段見落としている古賀市の魅力を再発見することをめざし、古賀の魅力再発見コンテストを実施します(H25-H27の3か年)。また、コンテスト終了後は、寄せられた作品をまとめた作品集を作成し、古賀市の景観が持つ魅力を広く発信します。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

前期の取組結果を踏まえ、継続して市民の都市景観への意識高揚を図ります。

実施主体

古賀市

担当課	都市計画課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

古賀の魅力再発見コンテストの実施	古賀の景観について考えるきっかけづくりを目的として古賀の魅力再発見コンテストを実施する。
コンテスト応募作品の展示	コンテストの応募作品の展示による市民への周知啓発を実施し、古賀市の景観が持つ魅力を発信する。
古賀の魅力再発見コンテスト作品集の作成	古賀の魅力再発見コンテスト作品集を作成する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間分をまとめたもの。 ・冊子に残すことにより古賀市の魅力を後世に残すため作成 ・図書館その他市内公共施設での閲覧を予定

応募作品の展示先
：リーパス(受賞作品のみ)、駅前ギャラリー、アクロス、ちどり苑、図書館(予定)

古賀の景観について考えていただくきっかけとなるよう実施

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
古賀の魅力再発見コンテストの実施	スケジュール	←	→			
コンテスト応募作品の展示	スケジュール	←	→			
古賀の魅力再発見コンテスト作品集の作成	スケジュール			←	→	
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見

作品集を古賀市内外に、広く発信することが望まれる。また、他団体との連携も検討されたい。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 67

環境分野	都市環境
環境目標	緑・歴史・風景の「調和」
取組の方向性	A. 都市景観の維持・形成
基本的な取組	A-③屋外広告物の管理

施策内容

まちなみ景観を損ねる無秩序な屋外広告物を、福岡県屋外広告物条例に基づいて適正に管理します。また、路上などの違反広告物を市民ボランティアで簡易除却できる「古賀市路上など違反広告物追放推進団体」を増やす啓発活動を行い、都市景観の維持管理に努めます。

指標	現況	目標
古賀市路上など違反広告物追放推進団体登録数	4 団体	8 団体(平成28年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

主要幹線(国道3号、国道495号、県道35号)沿線に掲出されている屋外広告物が、県条例に基づき適正に管理されている状態になるよう、指導します。
また、市民に対する啓発を行い、古賀市路上など違反広告物追放推進団体の登録数が増えるよう取り組みます。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

前期に引き続き、屋外広告物の適正な管理に関する指導、市民に対する啓発を実施します。

実施主体

古賀市、古賀市路上など違反広告物追放推進団体

担当課	都市計画課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

違反屋外広告物に対する是正指導・適性管理	景観を損ねる違反屋外広告物に対する是正指導・適性管理を実施する。
違反広告物追放推進団体への簡易除却委託	古賀市路上など違反広告物追放推進団体への簡易除却を委託する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
違反屋外広告物に対する是正指導・適性管理	スケジュール	←	→			
違反広告物追放推進団体への簡易除却委託	スケジュール	←	→			
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見

市民に対する啓発を行い、違法広告物追放推進団体の増加へつなげる取組が必要である。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 68

環境分野	都市環境
環境目標	緑・歴史・風景の「調和」
取組の方向性	A. 都市景観の維持・形成
基本的な取組	A-④公共空間景観形成ガイドラインの推進

「公共空間景観形成ガイドライン」は、H24年度に古賀市にて作成済み

施策内容

「道路」「公園・緑地」「水辺・河川」「公共建築物」などの公共空間において、古賀市の風土を踏まえた景観デザインとなるよう定めた「公共空間形成ガイドライン」の理解と協力を促します。

指標	現況	目標
公共空間景観形成ガイドライン準拠物件	0件	5件(平成30年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

古賀市が建設する公共物(道路・公園・公民館等)において、設計段階から公共空間景観形成ガイドラインの遵守を求めることで、景観への認識の向上を図ります。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

前期に引き続きガイドラインの周知と理解を求めることで、古賀市の風土に沿った落ち着いた色彩の公共空間を創出します。

実施主体

古賀市

担当課	都市計画課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

ガイドラインを遵守した景観の整備	公共物設計発注におけるガイドラインを遵守することにより景観に配慮した整備をする。

・特記仕様書への明記等

・公共建築物の色彩を統一

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール					
ガイドラインを遵守した景観の整備	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

(仮称)生涯学習センター及び周辺施設の建築

古賀市環境政策調整委員会意見

市職員の「公共空間景観形成ガイドライン」に対する認識を向上させる必要がある。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 69

環境分野	都市環境
環境目標	緑・歴史・風景の「調和」
取組の方向性	B. 歴史・文化的景観の保全と活用
基本的な取組	B-①指定文化財の適切な維持管理と有効活用

施策内容	
既に指定済の文化財についての適切な維持管理を推進するとともに、その歴史的・文化的価値に関する調査研究を引き続き実施します。また、案内板の設置や、「唐津街道」、「鹿部田淵遺跡」をはじめとする古賀市の文化財めぐりなどの開催により、文化の保全と継承、市民への普及啓発を推進し、歴史的景観の保全に努めます。また、古賀市の「船原古墳」などの重要遺跡に関する調査・保存・整備、文化財収蔵施設の整備などを推進するとともに、未指定の文化財に関する調査研究を推進します	

指標	現況	目標
自然史・歴史講座の開催数	4回	増加(平成35年度)
—	文化財めぐりを含んでいる	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
市民を対象に実施する文化財や史跡の探訪、講話等を通して、歴史的文化遺産の保全についても啓発を行う。 「船原古墳群」出土遺物の解析調査の進捗を把握しその保存については、周囲の自然環境に配慮し実施する。
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
文化財や史跡の探訪、講話等を通じた、歴史的文化遺産の保全について、前期に引き続き、啓発を行う。 遺跡の調査・保存・整備については、周囲の自然環境に配慮しながら行う。

実施主体
古賀市教育委員会

案内板：指定文化財(県・市)には、設置済み。新規設置は予定なし

船原古墳群：解析調査は、県において実施中であるため、「進捗を把握し」との表現としている。
講話等は、歴史的景観の保全を第1目的とはしていないため、「保全についても」との表現としている

担当課	サンフレアこが
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
歴史的文化的の保全と継承についての啓発	自然史・歴史講座の開催による市民への文化の保全と継承について啓発する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
歴史的文化的の保全と継承についての啓発	スケジュール	←				→
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
啓発、案内板の設置については、すでに取組を推進しており、今後は、更に内容の充実に努める必要がある。	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 71

環境分野	地球環境
環境目標	「低炭素」社会の構築
取組の方向性	A. 古賀市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進
基本的な取組	A-①再生可能エネルギー導入の推進

施策内容

再生可能エネルギーの導入については、「古賀市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づき、市の特性にあった設備やシステムを検討し、推進していきます。家庭への太陽光発電システム導入に係る設置費の助成など、再生可能エネルギーに対する補助については、国・県の動向を注視し、費用対効果などを考慮しながら実施していきます。

指標	現況	目標
太陽光発電設備設置件数	1,055 件	増加(平成35年度)
二酸化炭素総排出量の削減割合	398 千t-CO2 100% (平成21年度) (2009年)	386 千t-CO2 -3% (平成35年度) (2023年)

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

再生可能エネルギーの導入の推進については、現在、市民に対して太陽光発電システム、エネファームシステムの設置費補助を実施しています。今後は、市の特性にあった再生可能エネルギー設備やシステムの導入促進のため、「再生可能エネルギー設備導入可能性調査」の実施を検討し、国・県の動向を注視しながら再生可能エネルギーの導入及び、普及・啓発に係る周知等を推進していきます。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

前期(平成26年度～平成30年度)での内容をふまえ、市の特性にあった再生可能エネルギー設備やシステムの導入及び、普及・啓発に係る周知等を推進していきます。

実施主体

古賀市

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

再生可能エネルギー導入可能性調査の検討	古賀市の特性にあった再生可能エネルギー設備の導入可能性調査を検討する。
再生可能エネルギー導入の推進	導入可能性調査の結果を基に再生可能エネルギー導入の推進方針を策定し推進を図る。

「福岡県再生エネルギー発電設備導入促進事業」補助金を活用予定

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール					
再生可能エネルギー導入可能性調査の検討	スケジュール					
再生可能エネルギー導入の推進	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見

エネルギー事情、市の財政状況及び費用対効果について考慮し、取組を実施していく必要がある。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 71

環境分野	地球環境
環境目標	「低炭素」社会の構築
取組の方向性	A. 古賀市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進
基本的な取組	A-②家庭でできる省エネルギー行動の効果検証

施策内容	
<p>A-①の施策に伴い、太陽光発電システムの設置世帯を中心に「環境家計簿」や「うちエコ診断」による啓発を行うとともに、集計結果の公表や表彰など、今後の再生可能エネルギーの普及への啓発に活用します。また、「エコファミリー」への登録を促すことで電気やガス、水道使用量の節減など省エネルギー・省資源の取り組みを県と連携して推進していきます。</p>	

指標	現況	目標
うちエコ診断受診世帯	0世帯	500世帯(平成35年度)
二酸化炭素総排出量の削減割合	398 千t-CO2 100% (平成21年度) (2009年)	386 千t-CO2 -3% (平成35年度) (2023年)

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>現在、省エネや節電への取組については広報こがや、古賀市ホームページにおいて周知を行っておりますが、今後は国や県と連携し、「環境家計簿」、「エコファミリー」、「うちエコ診断」などの実施を行うことで、市民の省エネや節電の意識向上を図っていきます。また、平成30年には市民アンケートの実施、集計を行い、前期での効果検証を行い、後期に反映させていきます。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>前期での意識調査を基に、効果的な取組を推進していきます。</p>

実施主体
古賀市・国・県

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
「うちエコ診断」の実施	「うちエコ診断」を推進する(H30年度目標:250件)。
「エコファミリー」への登録を推進	市民による「エコファミリー」への登録を推進する。(H30年度目標:250世帯)
「環境家計簿」の活用推進	市民による「環境家計簿」の活用を推進する。
「意識調査」を実施による効果検証	市民に対する「意識調査」を実施し効果検証を行う。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール					
「うちエコ診断」の実施	スケジュール		推進及び実施			見直し
「エコファミリー」への登録を推進	スケジュール	推進				見直し
「環境家計簿」の活用推進	スケジュール	推進				見直し
「意識調査」を実施による効果検証	スケジュール					意識調査・集計
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>県の担当部署と連携し、情報の収集に努め、市民への啓発を強化していく必要がある。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 71

環境分野	地球環境
環境目標	「低炭素」社会の構築
取組の方向性	A. 古賀市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進
基本的な取組	A-③事業者への環境マネジメントシステム導入の促進

施策内容

事業者が自主的に環境保全への取り組みを継続して進めていくための仕組みとして、ISO14001 やエコアクション21 などの環境マネジメントシステムの導入を促進します。導入支援の内容として、手続きに関する情報の提供、人材育成のための研修会などの開催をはじめ、規格取得などに必要な費用の補助についても検討していきます。また、「うちエコ診断」の実施を促し、企業のエネルギー使用の現状把握を行うことで、効果的な施策の検討も併せて行います。

指標	現況	目標
二酸化炭素総排出量の削減割合	398 千t-CO2 100% (平成21年度) (2009年)	386 千t-CO2 -3% (平成35年度) (2023年)
事業者のマネジメントシステム導入数	12事業所	増加(平成35年度)

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

企業向けには、国や県、その他の機関等が実施している事業への参加を推進していき、環境マネジメントシステムの導入を促進していきます。具体的には、企業の規模や意識に合わせた事業の紹介を行い、企業ごとの実態に合わせた推進を検討していきます。(また、効果を上げた企業に対しては表彰等の実施を検討。)
(⇒省エネ相談事業、省エネ診断・節電診断サービス、エコ事業所宣言、Eco-CRIP事業、エコアクション21取得、ISO24001取得:これらの事業を基にし、企業がより高度な取組へとステップアップしていける形で実施予定。)

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

前期での取組に基づき、実施企業数の拡大を図ります。また、既に実施を行っている企業に対しては、より高度な取組の実施を推進していきます。

実施主体

古賀市・国・県

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

環境マネジメントシステムの導入検討	環境マネジメントシステムの段階的な導入を促す仕組みづくりを検討する。
環境マネジメントシステム導入に向けた事業紹介	環境マネジメントシステム導入に向けた事業紹介(説明会等)を実施する。
国・県等の情報を収集	国・県等で把握している情報を収集する。
事業者に対する「意識調査」の実施	事業者に対する「意識調査」を実施し効果検証を行う。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
環境マネジメントシステムの導入検討	スケジュール	← 商工会等との協議など	← 仕組みの完成			
環境マネジメントシステム導入に向けた事業紹介	スケジュール		← 実施(説明会の実施)			→
国・県等の情報を収集	スケジュール	↔	↔	↔	↔	↔
事業者に対する「意識調査」の実施	スケジュール					← 意識調査・集計
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見

商工会、工業団地、企業等関係機関との連携を強化していく必要がある。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 73

環境分野	地球環境
環境目標	「低炭素」社会の構築
取組の方向性	B. 古賀市地球温暖化防止率先行動計画の推進
基本的な取組	B-①公共施設における再生可能エネルギー導入の推進

施策内容	
<p>公共施設へ再生可能エネルギー導入を推進していきます。また、設備導入に当っては国や県などの各種補助制度を活用し、経費・社会性の面を考慮しながら適宜実施していきます。</p>	

指標	現況	目標
公共施設の再生可能エネルギー導入施設数	4 施設	増加(平成35年度)
古賀市の公共施設における二酸化炭素排出量の削減割合	4,511(t-CO2) 100%(平成11年度)	4,195(t-CO2) -7%(平成35年度)

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>現在、古賀市役所には、太陽光パネル(20kW)が設置されているが、さらなる再生可能エネルギー設備等の導入に向け、「導入可能性調査」を実施し、古賀市の特性にあった設備導入を検討していきます。研修棟には、環境への配慮及び省エネを目的として、太陽光発電システム(10kW)の設置が予定されています。</p> <p>市庁舎及び市内小学校2校には、防災拠点とすることを目的として、再生可能エネルギー導入推進基金事業(グリーンニューディール基金事業)を活用した、太陽光発電システム(10kW)と蓄電池(15kW)の設置が予定されています。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>前期の取組結果を基に、引き続き導入方法の提案を推進し、二酸化炭素排出量の削減へ取り組んでいきます。</p>

実施主体
古賀市

担当課	環境課、財政課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
公共施設への再生可能エネルギー導入可能性調査の実施	古賀市の特性にあった再生可能エネルギー設備の導入可能性調査を実施する。
再生可能エネルギー設備の導入を推進	調査結果を基に、古賀市の特性にあった設備導入を検討し、導入を推進する。
研修棟に太陽光パネル(10kW)を設置	環境への配慮及び省エネを目的とし、研修棟における太陽光パネル(10kW)を設置する。
グリーンニューディール基金事業の活用	グリーンニューディール基金事業を活用した、太陽光パネル(10kW)の導入及び蓄電池(15kW)を設置する。

「福岡県再生エネルギー発電設備導入促進事業」補助金を活用予定

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←→				
公共施設への再生可能エネルギー導入可能性調査の実施	スケジュール	補助金申請の準備	「福岡県再生エネルギー発電設備導入促進事業」申請・導入調査実施			
再生可能エネルギー設備の導入を推進	スケジュール			各課へ提案・協議	導入の実施	
研修棟に太陽光パネル(10kW)を設置	スケジュール		←→	←→		
グリーンニューディール基金事業の活用	スケジュール	設計	導入	使用及び効果の把握		
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
古賀市の特性にあった再生可能エネルギーについて十分な調査、研究のうえ、エネルギー事情を鑑みて指針となるような取組を推進し、エネルギーの効率的な利用を図ることが求められる。	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 73

環境分野	地球環境
環境目標	「低炭素」社会の構築
取組の方向性	B. 古賀市地球温暖化防止率先行動計画の推進
基本的な取組	B-②グリーン購入及び庁舎の省エネルギーの推進

施策内容

グリーン購入調達方針に基づく、製造過程・廃棄段階で環境への負荷が少ない物品の購入・使用に努めます。
また、LED などの高効率照明への切り替え、照明の間引き、消灯の励行によって庁舎の節電に努めるとともに、車輦のエコドライブを推奨することでエネルギーの節減にも取り組めます。
特に、電力使用が多い夏季・冬季については、冷暖房の温度設定の徹底(夏季28℃、冬季20℃)、クールビズ・ウォームビズの取り組みや、給湯器の停止(夏季)、緑のカーテンの設置など積極的な節電対策に取り組めます。

指標	現況	目標
グリーン購入の調達率	88%	100%(平成35年度)
二酸化炭素総排出量の削減割合	398 千t-CO2 100% (平成21年度) (2009年)	386 千t-CO2 -3% (平成35年度) (2023年)

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

省エネ法(エネルギー使用の合理化等に関する法律)に基づき、特定事業者として中長期計画を策定し、取組を進めていきます。また、定期報告書を国に毎年提出し、集計結果を基に庁舎内及び他の公共施設における節電や省エネに関する取組の推進を行っていきます。
グリーン購入においては、職員のグリーン購入に対する意識や理解が十分でないという現状をふまえ、前期においてはグリーン購入の啓発を行い、グリーン購入の推進を図っていきます。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

前期に引き続き、省エネ法で指定される特定事業者として、効果を把握し、庁舎内及び他の公共施設における省エネや節電を推進していきます。
グリーン購入の推進においては、前期での取組による効果や結果を基に、現況と課題を把握し、目標値である100%の達成を目指した取り組みを進めていきます。

実施主体

古賀市

担当課	環境課、財政課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

「省エネ法」に基づく中長期計画書の作成	「省エネ法」に基づく特定事業者としての体系づくり、及び中長期計画書を作成する。
省エネ法における「定期報告書」の作成	省エネ法における「定期報告書」を作成する。
公共施設における省エネや節電を推進	庁舎内及び他の公共施設における省エネや節電を推進する。
省エネ等の講習会等の実施	講習会等を実施し、「グリーン購入」や「省エネ・節電」に関する職員の理解を図る。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←→				
「省エネ法」に基づく中長期計画書の作成	スケジュール	← 特定事業者として登録	→ 中長期計画書の作成 特定事業者の体系づくり			
省エネ法における「定期報告書」の作成	スケジュール	← 毎年作成				→
公共施設における省エネや節電を推進	スケジュール	←				→
省エネ等の講習会等の実施	スケジュール	← 実施案を考える	→ 各課の環境推進員に向けた講習会等を実施			
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見

省エネ法に基づく消費エネルギーの削減の取組の実施、市職員の節電行動の定着を図ると同時に、市役所職員を対象とした啓発、周知が必要である。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 75

環境分野	資源循環
環境目標	「循環」型社会の構築
取組の方向性	A. ごみの減量と資源化対策
基本的な取組	A-①ごみを減量するための水切りやマイバックなどの啓発促進(家庭系ごみ)

施策内容	
<p>まつり古賀などのイベントで、ごみの水分を極力減らす「最後のひとしぼり」をテーマに、水切りの効果についての啓発を行うとともに、マイバックの配布を継続しながら、その使用を促す啓発を行います。ごみ処理機器の補助金の活用について、現在の使用状況などの実態調査を実施し、調査の結果を基に、ごみ処理機器を活用した取り組みの課題を整理し、今後の啓発などに反映させます。</p>	

指標	現況	目標
1人1日あたりのごみ排出量(g)	784g	665g(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>まつり古賀などのイベントでごみを減量するための水切りやマイバックなどの啓発促進を行うとともに、市民の啓発の場となる行事等の情報収集を行います。また、ごみ処理機器の使用状況などの追跡調査(アンケート)を行い、今後の啓発に反映させます。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>ごみ減量に関する啓発が形骸化することが無い様に検証しながら、前期に引き続き継続的に啓発促進を行います。また、ごみ処理機器についても前期行った実態調査等を踏まえ、実態に即した啓発活動を行います。</p>

実施主体
古賀市(環境課)

担当課	環境課(ごみ対策係)
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
水切りやマイバック等の啓発	ごみを減量するため水切りやマイバック等の啓発を促進する。
ごみ処理機器の実態調査実施	ごみ処理機器の現在の利用状況などについて実態を調査する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
水切りやマイバック等の啓発	スケジュール	←	→			
ごみ処理機器の実態調査実施	スケジュール	←	→			
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>ごみの減量・マイバックの利用促進等の啓発については、形骸化することがないように工夫を凝らし、継続して取り組むことが望まれる。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 75

環境分野	資源循環
環境目標	「循環」型社会の構築
取組の方向性	A. ごみの減量と資源化対策
基本的な取組	A-②資源化率を上げるための分別品目の検討(家庭系ごみ)

施策内容	
<p>「リサイクルの見える化」により、資源ごみの回収の効果を明確化し、分別収集への取り組みを推進します。最新のリサイクル情報を収集し、新規に分別収集ができる品目について検討し、資源化率の向上につなげます。</p>	

指標	現況	目標
資源化率(%)	17%	26.0%(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>広報・ホームページ等を活用し、積極的に情報発信を実施します。分別品目については、地域の分別収集の現状把握、先進地視察及び他自治体の最新リサイクル情報の収集を行い、収集方法の改善、検討を行います。また、市民に分かりやすい分別収集チラシ・ポスターを作製するとともに、「家庭ごみの出し方」パンフレット(全戸配布)に3Rの内容を盛り込み、啓発を推進します。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>継続的に広報やホームページを活用した情報発信を行うとともに、「家庭系ごみの出し方」パンフレットの内容の見直しなどを行います。</p>

実施主体
古賀市(環境課)

担当課	環境課(ごみ対策係)
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
分別状況の把握	地域の分別に関する現状を把握する。
リサイクル情報の収集	先進地視察及び他自治体のリサイクル情報を収集する。
分別品目の検討	資源化率を上げるための分別品目を検討する。
分別収集の啓発	分別収集チラシ・ポスターを作製する。「家庭ごみの出し方」パンフレットに3Rの啓発内容を盛り込み作成・配布する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール		→			
分別状況の把握	スケジュール	←				→
リサイクル情報の収集	スケジュール	←				→
分別品目の検討	スケジュール	←				→
分別収集の啓発	スケジュール	←	→			←
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>古賀市の実態に即した分別品目内容となるよう収集方法の改善も含め検討することが望まれる。また、市民が分別した資源ごみが年間どれくらいの量、どのように資源化されたかの公表など、市民の意識づけにつながる啓発方法を検討されたい。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 76

環境分野	資源循環
環境目標	「循環」型社会の構築
取組の方向性	A. ごみの減量と資源化対策
基本的な取組	A-③ごみの減量と資源化に関する啓発や情報提供(事業系ごみ)

施策内容

実態把握調査の結果を踏まえ、事業者を訪問し、製造・流通・販売などの事業活動の各段階における廃棄物について、減量と資源化を促進するための啓発、指導を行い、事業者への取組みを促します。
 事業者の適正処理・減量・資源化の関心を高めるため、取組みを促すパンフレットを作成します。
 「3Rの見える化ツール」を活用し、環境負荷削減効果が分かる事業者向けの情報を広報・HPなどに掲載し、事業者へ3Rの取組みを促します。
 事業者が自主的・自発的に取り組むことができる他自治体の事例などを調査研究し、広報・HPなどにより啓発に反映させます。
 環境負荷の少ない事業活動への変革を求めるため、業種ごとの産業特性に合わせて無理なく3Rの取組みができる情報提供を行います。

指標	現況	目標
資源化率(%)	17%	26.0%(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

平成26年度より事業系廃棄物3R推進事業を実施し、事業系ごみに関する適正処理・減量・資源化の関心を高め、その取組みを促す働きかけを行います。
 具体的には、業種ごとの排出状況や処理の負担、リサイクルへの関心や取組み意識等の調査を行い、事業者への啓発パンフレット及び指導用の訪問資料等を作成し、事業者への訪問し、啓発・情報提供・指導等を実施します。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

後期についても、ごみ処理と資源化に関する啓発と情報提供を行うとともに、継続的に適正な排出・処理の指導等を実施します。

実施主体

古賀市(環境課)

担当課	環境課(ごみ対策係)
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

実態の把握及び事業者訪問資料の作成	実態把握調査の実施及び啓発パンフ、事業者訪問資料を作成する。
事業者訪問の実施	事業者訪問(啓発・情報提供・指導)を実施する。
情報発信・啓発強化	情報発信・啓発を強化する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
実態の把握及び事業者訪問資料の作成	スケジュール	←	→			
事業者訪問の実施	スケジュール		←	→		
情報発信・啓発強化	スケジュール	←				→
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見

業種ごとに実態を把握しての事業所訪問は効率的であると思われる。それに加え、市内企業の自主組織などへの説明、意見交換等を行うことを検討されたい。
 また、訪問後についても継続的に情報提供や指導等を行うことで効果が高まると思われる。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 76

環境分野	資源循環
環境目標	「循環」型社会の構築
取組の方向性	A. ごみの減量と資源化対策
基本的な取組	A-④資源化率向上のための取組み(事業系ごみ)

施策内容	
<p>資源化の余地が残されている食品廃棄物や古紙などは、新たな資源化ルートの構築に取り組めます。 事業者に対し資源ごみの分別の徹底を促すとともに、自主的な資源化の取組みについての支援を検討します。</p>	

指標	現況	目標
資源化率(%)	17%	26.0%(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>事業系廃棄物3R推進事業(A-③で別述)による実態を把握します。 食品廃棄物や古紙など新たな資源化ルートの構築について検討します。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>事業者に対し資源ごみの分別の徹底を促すとともに、自主的な資源化の取組みについての支援を検討します。</p>

実施主体
古賀市(環境課)

担当課	環境課(ごみ対策係)
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
事業系廃棄物3R推進事業	事業系廃棄物3R推進事業(A-③で別述)による実態把握を実施する。
新たな資源化ルートの構築	食品廃棄物や古紙など新たな資源化ルートの構築について検討する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
事業系廃棄物3R推進事業	スケジュール	←	→			
新たな資源化ルートの構築	スケジュール				←	→
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>新たな資源化ルートの構築は重要であると考え、実態に即した内容になるよう慎重な検討が必要である。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 77

環境分野	環境意識と行動
環境目標	「共働」の環の拡大
取組の方向性	A. 環境保全活動に関わる個人・団体の連携強化
基本的な取組	A-①市・ぐりんぐりん古賀などの共働による環境保全活動の推進

施策内容	
<p>環境のネットワーク組織である「ぐりんぐりん古賀」を中心に会員独自の事業をはじめ、学校などと連携することで、環境教育を推進し、生物多様性の保全や3Rの推進など、活動分野の拡大、継続性のある活動の展開を図ります。</p>	

指標	現況	目標
—	—	—
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>グリーンカーテンの匠事業(市)、ECOかるた、環境体験講座(ぐりんぐりん古賀)などの取組について、学校、ぐりんぐりん古賀との連携をはかり、継続して実施していきます。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>前期に実施した活動の反省点を踏まえ、改善を加え、継続して実施します。学校以外の場における活動に展開することを検討します。</p>

実施主体
市(環境課)、ぐりんぐりん古賀、学校

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
古賀市グリーンカーテンの匠事業の実施	古賀市グリーンカーテンの匠事業を実施し、グリーンカーテンの普及啓発に努める(平成27年度までのボトムアップ事業)。その後も引き続き、グリーンカーテンの普及啓発についての取組を検討する。
ECOかるたの作成	環境教育・環境学習推進に活用するためECOかるたを作成する。
環境体験講座の実施	環境体験講座を通し環境保全に関する情報や技術を提供する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
古賀市グリーンカーテンの匠事業の実施	スケジュール	←	→	←----- (新規事業にて、継続してグリーンカーテンの普及・啓発予定) ----->		
ECOかるたの作成	スケジュール	←	→			
環境体験講座の実施	スケジュール	←	→			
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
<p>ぐりんぐりん古賀を中心とした市民団体、学校等との十分な連携が求められる。</p>	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 77

環境分野	環境意識と行動
環境目標	「共働」の環の拡大
取組の方向性	A. 環境保全活動に関わる個人・団体の連携強化
基本的な取組	A-②市・ぐりんぐりん古賀を中心とした個人・団体との環づくり

施策内容

「ぐりんぐりん古賀」を中心として、A-①の活動に伴い、個人・団体の集いの場である「つながりひろば」などを活用し、環境と密接に関わり合う主体とのネットワークの強化を図ります。また、まつり古賀など各種行事やホームページなどで積極的に広報活動を行い、参加の輪を広げることで、会員数の増加を目指します。

指標	現況	目標
ぐりんぐりん古賀 (古賀市環境市民会議) 個人会員・団体会員数	個人会員:36名	100名(平成35年度)
	団体会員:21団体	50団体(平成35年度)

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

つながりひろば情報紙「わ・わ・わ通信」やフェイスブックを活用して、市民に団体情報を紹介していきます。ぐりんぐりん古賀においては、「わ・わ・わ通信」に会員募集記事を掲載、活動内容を記載した会員募集カードの作成及び配布、ぐりんぐりん古賀ホームページの充実など、会員数増加に向けた取組を推進します。また、会員獲得につなげるため、各種行事(まつり古賀、ぐりんぐりんフェスタ)で活動発表を実施します。年次報告書を作成し、活動の成果を見える形で残し、会員獲得のためのアピールに活用します。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

前期に引き続き、情報提供、周知活動を実施します。ぐりんぐりん古賀においては、前期に獲得した会員からの新しい個人・団体との関わりの強化に努めます。

実施主体

古賀市(環境課、つながりひろば)、ぐりんぐりん古賀

担当課	環境課、生涯学習推進課(つながりひろば)
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
「わ・わ・わ通信」等を活用した情報提供の充実	つながりひろば情報紙「わ・わ・わ通信」及びフェイスブックによる情報提供の充実を図る。
ぐりんぐりん古賀会員募集カードの作成、配布	ぐりんぐりん古賀の活動内容を記載した会員募集カードを作成し、配布する。
ホームページの充実	ぐりんぐりん古賀ホームページの充実を図る。
各種行事における会員募集活動の実施	各種行事(まつり古賀、ぐりんぐりんフェスタ)での会員募集活動を実施する。
年次報告書の作成	ぐりんぐりん古賀年次報告書を作成する。

わ・わ・わ通信:年6回発行
フェイスブック:随時更新

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
「わ・わ・わ通信」等を活用した情報提供の充実	スケジュール	←	→			
		消耗品代、通信運搬費				
ぐりんぐりん古賀会員募集カードの作成、配布	スケジュール	←	→			
ホームページの充実	スケジュール	←	→			
各種行事における会員募集活動の実施	スケジュール	←	→			
年次報告書の作成	スケジュール	←	→			

わ・わ・わ通信...全戸回覧

※十五日会(工業団地の企業)、金曜会(西部電機などの企業)にも配布されている

古賀市環境政策調整委員会意見

会員数の増加については、量的拡大の視点だけではなく、活動の趣旨に賛同し、実際に活動に参加できる人材が求められる。団体の取組の十分なアピールが必要と考えられる。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 79

環境分野	環境意識と行動
環境目標	「共働」の環の拡大
取組の方向性	B. 環境保全活動に関する情報の提供及び活動の推進
基本的な取組	B-①環境保全活動に関する情報発信の強化

施策内容	
市ホームページや広報こがなどの広報手段だけでなく、ボランティア団体の情報が集まる「つながりひろば」の広報手段を活用し、更なる情報発信の強化を図ります。また、交流活動などへの積極的な参加を促すことで、他分野の団体との情報共有を図ります。	

指標	現況	目標
環境保全活動に関する実行度	55%(平成24年度)	70%(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
団体(環境保全団体を含む)の活動状況や取組み等を、つながりひろば情報紙「わ・わ・わ通信」(年6回発行)やフェイスブック(随時更新)などを活用した情報発信を実施します。 また、公共施設や周辺施設(古賀駅、コスモス館など)への掲示、周知を図ります。
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
つながりひろば情報紙やフェイスブックでの活動紹介を継続して実施します。 交流活動の情報を、ぐりんぐりん古賀会員へ情報提供することで、他分野の団体との情報共有を図ります。

実施主体
市(環境課、つながりひろば)

担当課	環境課、生涯学習推進課(つながりひろば)
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
つながりひろば情報誌への掲載	つながりひろば情報紙「わ・わ・わ通信」に掲載する。
公共施設や周辺施設への掲示、周知	公共施設や周辺施設(古賀駅、コスモス館など)への掲示、周知を実施する。

市役所内での掲示、公民館、図書館、西鉄バス、コスモス館、古賀駅、全戸配布、全戸回覧、こがナビ(古賀駅内コンビニ)、小中高校への配布などを想定

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
つながりひろば情報誌への掲載	スケジュール					
公共施設や周辺施設への掲示、周知	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
積極的な掲示、周知による情報発信の必要がある。	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 79

環境分野	環境意識と行動
環境目標	「共働」の環の拡大
取組の方向性	B. 環境保全活動に関する情報の提供及び活動の推進
基本的な取組	B-②市内の美化活動の推進

道路環境美化、古賀市環境美化行動の日の活動では市民参加による一斉清掃活動が行われているほか、アダプトプログラムでは、古賀市の事業者を中心に様々な団体が積極的に美化活動に参加しています。
 また、「ラブアース・クリーンアップ」では、ボランティア団体・企業・行政などが実行委員会を形成して、海岸の一斉清掃に取り組むことで、美観の形成を図っています。
 一方、地域コミュニティやボランティア団体も河川や松原など、独自で清掃活動に取り組んでいることから、今後は地域に根付く美化活動を、多様な主体の共働で推進していきます。

指標	現況	目標
古賀市の美化活動に対する参加の意向	40%(平成24年度)	76%(平成35年度)
アダプトプログラム登録数	34 団体	50 団体(平成35年度)

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
市民参加による一斉清掃活動(道路環境美化、古賀市環境美化行動の日)を実施します。 また、ボランティア団体等が実行委員会形式で取組む海岸一斉清掃(ラブアース・クリーンアップ)では、連携協力して、実施するとともに、事業者等の団体が中心になって取組む美化活動(アダプトプログラム)を支援します。
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
後期についても、多様な主体との共働の環を拡充させ、美化活動を推進するための情報提供、活動支援等を継続的に実施します。

実施主体
古賀市(環境課・生涯学習推進課・建設課)・市民・市民活動団体(地縁団体・志縁団体)・企業

H26.4現在
30団体

最後の文「アダプトを支援します」・・・ボランティア清掃ごみ袋の提供、ごみの回収、助成制度の周知、窓口の一本化(申請:生涯学習課、回収:環境課)などの改善検討を想定

担当課	環境課、生涯学習推進課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
環境活動に関する情報提供及び活動推進	環境活動に関する情報の提供及び活動を推進する。
環境活動に関わる個人・団体の連携強化	環境活動に関わる個人・団体の連携強化を図る。
アダプトプログラムに関する周知啓発	アダプトプログラムに関する周知啓発を実施する。

広報による周知、助成金(公益社団法人食品容器環境美化協会)の周知を想定

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール		→			
環境活動に関する情報提供及び活動推進	スケジュール					→
環境活動に関わる個人・団体の連携強化	スケジュール					→
アダプトプログラムに関する周知啓発	スケジュール					→
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
多様な主体との協働した取組は今後、さらに重要になってくることから、積極的に推進することが望まれる。 また、美化活動に積極的なグループ、団体、企業などの広報での紹介、表彰などについて検討されたい。	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 81

環境分野	環境意識と行動
環境目標	「共働」の環の拡大
取組の方向性	C. 年齢層に応じた環境教育・学習の充実
基本的な取組	C-①環境教育プログラムの作成と活用

施策内容	
<p>市・ぐりめぐりん古賀・学校の連携で、小学生を対象とした「環境教育プログラム」の作成に取り組みます。 プログラムの内容は小学生の低学年から高学年までを対象とした授業に対応するため、自然環境・生活環境における様々な分野のプログラム整備を図ります。 一方、中学校では独自で環境保全に係る清掃活動やボランティア活動を展開していることから、古賀市版「環境カウンセラー」による支援や、ボランティア団体などと連携しながら環境教育の推進を図ります。</p>	

指標	現況	目標
環境教育プログラム実施数	0回	30回/年 (平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>グリーンカーテンの匠事業を通して、授業に活用できるプログラムを学校へ提案します。 ぐりめぐりん古賀において現在提供中の環境講座調査を実施し、現状の把握を実施します。 小学生に対応した「環境教育プログラム」の作成・整備を行い、授業等における活用を検討します。 市・ぐりめぐりん古賀・学校等と連携し、小学生を対象とした「環境教育プログラム」の取組を推進します。</p>
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>福岡県の補助制度を活用し、中学校での環境保全活動に関する支援を実施します。 また、中学校における清掃活動やボランティア活動については環境カウンセラーを通じた活動支援ができるよう、市と学校が連携して推進します。</p>

実施主体
市(環境課、学校教育課)、ぐりめぐりん古賀、学校

福岡県の補助制度・・・福岡県のエコサポーター制度を想定している

担当課	環境課、学校教育課、各教育機関
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
古賀市グリーンカーテンの匠事業の実施	古賀市グリーンカーテンの匠事業を実施する(平成27年度までのボトムアップ事業)。その後についても引き続き、取組を検討する。
現在提供中の環境講座の調査	現在提供中の環境講座を調査し、現状把握する。
講座内容を学校へ提示	講座内容を学校へ提示(マッチング)する。
「環境教育プログラム」の小学校教育活動への展開	「環境教育プログラム」の小学校教育活動への展開を検討する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
古賀市グリーンカーテンの匠事業の実施	スケジュール	←	→	(新規事業にて、継続してグリーンカーテンの普及・啓発予定)		
現在提供中の環境講座の調査	スケジュール	←	→			
講座内容を学校へ提示	スケジュール		←	→		
「環境教育プログラム」の小学校教育活動への展開	スケジュール					→
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
学校、市民団体等から広く情報収集し、内容を充実させる必要がある。	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 81

環境分野	環境意識と行動
環境目標	「共働」の環の拡大
取組の方向性	C. 年齢層に応じた環境教育・学習の充実
基本的な取組	C-②事業者向け環境教育の充実

施策内容	
<p>C-①の環境教育プログラムの内容を発展させて、事業者が行う社員教育やISO14001、エコアクション21などの各種認証制度に基づく環境学習の場において、環境教育の充実に図る。 また、環境教育などの取り組みを率先して行っている事業者の事例発表や研修会など、事業者相互の情報交換が行える場づくりを行います。</p>	

指標	現況	目標
環境教育を実施する事業者数の割合	53%(平成24年度)	66%(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等
(実施時期:後期)
後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等
<p>商工会と連携し、事業者が必要としている環境教育について調査を実施し、事業者のニーズにあった支援ができる体制づくりをする。 先進事例について情報交換を行う場を設定する。</p>

実施主体

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)	
	(実施時期:後期)

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見	古賀市環境審議会意見
後期での取り組みに向けて、情報収集に努める必要がある。	

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 83

環境分野	環境意識と行動
環境目標	「共働」の環の拡大
取組の方向性	D. 環境教育の担い手の育成、活動の推進
基本的な取組	D-①古賀市版「環境カウンセラー」の登録制度確立と人材育成

施策内容

学校や企業などに対して環境教育を実践する人材として、古賀市版「環境カウンセラー」登録制度を創設します。
また、環境カウンセラーは「人材バンク」との連携を図りながらC-①の施策にある環境教育プログラムの推進を中心となって担い、様々な環境分野に関する知識や経験が豊富な人材が担います。
人材の育成については、環境分野における資格や各種研修などの情報提供や、環境教育プログラム作成に向けた講習会の開催などの補助をぐりんぐりん古賀と共働で取り組みます。

指標	現況	目標
環境カウンセラーの登録数	0人	30人(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

「人材バンク」やぐりんぐりん古賀に登録されている人や内容を把握するとともに、学校や企業において「環境カウンセラー」に求められているものについて調査を実施します。
「人材バンク」の人材とニーズのマッチングをはかり、学校や企業に提案します。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

前期にて構築された「人材バンク」と「環境カウンセラー」の両者の活用を発展させ、「人材バンク」以外からの人材を取り込める体制を構築します。
環境カウンセラーについては、古賀市の人を育成し、古賀市へ還元できる仕組みづくりを検討します。

実施主体

市(環境課)、ぐりんぐりん古賀

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

環境教育に関する人材の調査	ぐりんぐりん古賀、「人材バンク」の登録状況を調査する。
「環境カウンセラー」に関するニーズ調査	学校、企業において求められている「環境カウンセラー」について調査する。
人材バンクとニーズとのマッチング作業	人材バンクと学校・企業におけるニーズとのマッチング作業を実施する。
環境カウンセラー活用について提案	環境カウンセラー活用について学校、企業へ提案する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
環境教育に関する人材の調査	スケジュール	←	→			
「環境カウンセラー」に関するニーズ調査	スケジュール		←	→		
人材バンクとニーズとのマッチング作業	スケジュール		←	→		
環境カウンセラー活用について提案	スケジュール			←	→	
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見

人材の育成について、市民団体、企業等との十分な連携が求められる。

古賀市環境審議会意見

第2次古賀市環境基本計画

前期(平成26年度～平成30年度)実施計画シート

第2次古賀市環境基本計画 P 83

環境分野	環境意識と行動
環境目標	「共働」の環の拡大
取組の方向性	D. 環境教育の担い手の育成、活動の推進
基本的な取組	D-②環境保全に関する交流の場づくり

施策内容

市・環境保全活動団体を中心に、中・高生をはじめ一般市民を含む多様な主体で、環境保全活動や環境教育に関する意見交換のための交流の場づくりを行います。交流会では、様々な立場の主体が対等な関係のもと意見を出し合うことで、地域特性にあった古賀市独自の環境施策への展開を検討していきます。

指標	現況	目標
環境保全に関する交流の回数	0回/年	4回/年(平成35年度)
—	—	—

前期(平成26年度～平成30年度)での課題や具体的な取組の方向性等

意見交換のための交流の場づくりに関する先進事例について研究し、実施に向けた体制づくりなどの取組を推進します。

後期(平成31年度～平成35年度)での課題や具体的な取組の方向性等

前期にて構築した体制のもと、点検・評価していくための仕組み(PDCA)を持った交流の場づくりに取り組めます。

実施主体

市(環境課)、環境保全活動団体、一般市民(中高生含む)

担当課	環境課
第2次古賀市環境基本計画での実施時期	前期～後期

施策内容を達成するための具体的取組(前期)

意見交換のための交流の場づくり 先進事例についての調査研究	意見交換のための交流の場づくりに関する先進事例について調査研究する。
意見交換のための交流の場づくり 実施に向けた体制の構築	意見交換のための交流の場づくり実施に向けた体制を構築する。

具体的取組の5ヶ年スケジュール及び概算金額(主な事業費のみ)

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(記入例)	スケジュール	←	→			
意見交換のための交流の場づくり 先進事例についての調査研究	スケジュール					→
意見交換のための交流の場づくり 実施に向けた体制の構築	スケジュール				←	
	スケジュール					
	スケジュール					
	スケジュール					

古賀市環境政策調整委員会意見

他市町村を含め、広く情報収集し、交流する内容、手法等の検討が必要である。

古賀市環境審議会意見